

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 4 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	介護施設、介護職の役割について研修はあり、職員は理解しているが、地域への貢献を役割とは捉えていない。	地域への役割を理解できる施設となる。	地域貢献の理解をテーマに研修を行なう。	2ヶ月
2	3	十分に地域貢献できていない。	地域貢献を実践できる。	認知症サポーター講座を施設で行なう。1の研修で職員が出来る地域貢献を見つけ実践する。	12ヶ月
3	20	一人ひとりのなじみについての情報が少ない。	利用者一人ひとりのなじみの情報を収集する。	ご家族と本人の同意があれば、キーパーソン以外の方と面談する。ご家族の同意があれば、アセスメントシート(センター方式コアシート)に記入しながらご家族と情報を集める。	6ヶ月
4	20	なじみの方の訪問しやすいよう働きかけはしているも、こちらから積極的に訪問していただけるようアプローチがない。	利用者の人や物、あるいは、なじんできた生活を取り戻せるよう援助する。	収集した情報を基に、本人と懐かしい人に手紙を書く。電話をかける等、実地できる所から働きかける。	12ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。